

一般質問

中川 直美 議員

市の防災姿勢は問題 改正離島振興法の具体的課題を



【質問】 3・11以降、大災害の教訓を活かすべきであるが、学校校舎建設にあたり避難所機能を備えてない。相川消防署は津波警報が出たらいち早く避難しなければならぬ所に建てるなど、市の防災姿勢が災害緊急情報報端末の加入率の低さにつながっているのではないか。

【市長】 全体で50%で重要性から見ると周知不足だったので今後改善する。

【質問】 災害弱者の多い島として福祉避難所の設置は。

【市長】 設置運営体制の整備を検討している。

【質問】 改正離島振興法の県計画に県の責任を明記させるとともに、35億円も必要な流域下水道の市移管も、振興法の立場で県に責任を果たさせるべきだ。

【市長】 離島ハンディを認めさせる計画になるよう頑張っている。

【質問】 TPPや消費税増税は地方の頑張りや冷や水をかけると思うが。

【市長】 増税は社会保障等はどうするかがまず必要。負担が軽減できない市民病院等の負担が増える。TPPは地域社会を市場化することは断固反対である。

【質問】 民営化した温泉施設は破綻方向だが、どうするのか。

【市長】 合併前から健康増進等で利用されてきた施設で新たな譲渡先も含め、役割を継承できるように考える。

【質問】 制度が変わる中、保育園民営化が行われるが、現在の私立と同等の雇用を進めるべきだし、羽茂の園建設は、すすめるべき

【市長】 早急に制度改変の中身を勉強して対応を決める。

【質問】 新造船建設に伴う運賃低廉化は、補助枠だけでなく離島振興法の立場も含めた中身にすべきだ。

【市長】 現在、検討中だが、新潟・佐渡航路は国道であること主張し計画に入れている。

【質問】 通学路の安全対策は、交通安全だけでなく防犯灯等総合的なものにすべき。

【市長】 合併前から健康増進等で利用されてきた施設で新たな譲渡先も含め、役割を継承できるように考える。

【質問】 制度が変わる中、保育園民営化が行われるが、現在の私立と同等の雇用を進めるべきだし、羽茂の園建設は、すすめるべき

【市長】 早急に制度改変の中身を勉強して対応を決める。

【質問】 新造船建設に伴う運賃低廉化は、補助枠だけでなく離島振興法の立場も含めた中身にすべきだ。

一般質問

近藤 和義 議員

早急な行財政改革が不可欠 レジ袋有料化は偽善ではないか



【質問】 本市は全市税収入55億円の約1.5倍を人件費にかけているが、市長はどのようにとらえているか。

【市長】 税収イコール人件費が基本と考えている。今後人件費にメスを入れていく必要がある、そのときには自ら率先して市長給与の削減をする。

【質問】 別表のとおり、焼却施設を統合しても施設能力の約57%で処理できるので、早急に2施設を統合すべきではないか。

【環境対策課長】 平成26年度末をめどに統廃合を進めていく。

【質問】 市職員から生活保護費受給の職員親族への仕送りなどはなされているか。

【市長】 市職員は給与水準が高いので、実態を調査し、可能な限り仕送りを求めるように適切な対応をとっていく。

【質問】 レジ袋を有料化しても、ごみやCO₂・石油の削減にならないとの専門家の指摘や環境省の回答があるが、事実とすると市民をだましてレジ袋を5円で買わせていることになる。課長答弁は減量の根拠となっていないので、明確な数値で示せ。

【環境対策課長】 先ほど説明した根拠しか手元にない。（議長 今後、調査の上、報告させる。）

【質問】 農業委員の視察研修旅費は自己負担が必要ないよう適正に予算措置を講ずるべきではないか。

【市長】 今後は視察研修計画に基づいた予算要求をする体系に変える。

クリーンセンターは統合すべき

H23可燃ごみ処理の現状			
	処理能力(トン)	ごみ搬入量(トン)	能力に対する処理量比(%)
佐 渡 ク リ ー ン セ ン タ ー	33,600	14,405	注1) 42.9
両 津 ク リ ー ン セ ン タ ー	11,200	4,608	41.1
佐渡クリーンセンター1ヶ所で処理した場合	※ 33,600	19,013	注2) 56.6

注1)ごみの量が不足しており処理能力の約43%しか使われていない
注2)統合しても能力の約57%で処理できる

※120トン×280日=33,600トン(理論値)。環境省指針：[年間280日以上を運転をすること]

2施設は早急に統合すべき。統合した場合、運営費は年間約2億円削減できる。

議会改革特別委員会（中間報告）

当特別委員会は、4月臨時会において「議員定数・議会改革に関すること」を付託され、これまで計10回の調査・審査を行い、その結果を、12月定例会最終日に「中間報告」として提出した。

なお、本委員会の付託事項はいずれも議会の根幹に関する問題であることから、当委員会の審査においては、委員会所属議員以外の議員からも広く意見等を求めた上、進めてきたところである。

1 議員定数に関すること

委員会の総意には至らなかったが、調査及び審査を尽くしたことから、主たる定員数について採決を行い、次期一般選挙より現行の「24人」を「22人」に改めるべきことを、賛成多数で決定した。

主な意見

- (1) 既に削減を進めてきた経緯もあり、佐渡市の広大な面積を考慮すると、現状維持又は2人減の22人が適当である。
- (2) 他市の数値等を考慮すると、2人減の22人が適当である。
- (3) 議員1人あたりの人口と4年後の人口減を考慮すると、22人が適当で

ある。

- (4) 定数減に比例して議員の質が向上するとは思えない。

- (5) 議会活動の質が現在より向上しない限り、現行定数のままでは、市民の理解が得られない。4人減の20人が適当である。
- なお、将来的には18人を目指すべきである。

- (6) 佐渡市の現行定数は、既に類似団体の平均定数に近いところにある。佐渡市の広大な面積等を考慮すると、急いで減員する必要があるだろうか。それよりも議会の質を向上する努力を先行すべきである。

※このほか委員以外の議員から、議員定数そのものに対する意見ではないが、議員定数の中に「女性枠」を設けるべ

きとの意見もあった。

2 議会改革に関すること

全国の議会改革の状況と比較しながら、議会権能の向上・市民の期待に因應する改革となるよう、10数項目について調査・審査を進めてきたが、中間報告した主な項目は次のとおりである。

なお、当委員会で改善すべきとした事項については、議会運営委員会及び各派代表者会議等の協議も経た上、随時、改善されているところである。

主な改革内容

(1) 議会の情報公開に関すること

以下は、「市民に開かれた議会」を目指して、協議・決定した項目である。

①議案のインターネット公開

執行部が議会へ提出した議案の

PDFデータを、12月定例会分から、提出日に議会ホームページに公開するようにした。

②議決の賛否状況の公開

9月定例会分から、議会が行った議案の表決について、その個人ごとの賛否の状況を、議会だより及び議会ホームページに公表することとした。

③政務調査費の使途の子細公開

政務調査費の使途については、従来から、議会ホームページ上で公開してきたが、これを徹底し、24年度分からより詳細な内容で公開することとした。

(2) 議会運営に関すること

・議案に対する討論制限撤廃

当市議会においては、これまで議案に対する討論は、賛成討論・反対討論ともに2人ずつまでと申合せてきたが、会議原則及び他市の事例等に鑑みて、この制限を撤廃した。

決算審査特別委員会審査報告

◆基本設計にはない国際会議場を入れ、実施設計を随意契約に

本特別委員会で審査した会計は、平成23年度一般会計及び12の特別会計、病院、水道企業会計の15会計であります。

本審査は、「平成23年度主要施策」の成果と「反省点」にしほって審査し、改善点が必要なものはその場で改善計画を提出させました。

1 一般会計

(1) 2大事業の設計について

「両津港埠頭開発」、(仮称)「佐渡市総合体育館」の計画と設計のずさんさは目にあまるものがある。特に「埠頭開発」については基本設計にはない「国際会議場」を途中で計画、実施設計3076万5000円を本来、50万円しか認められない随意契約にして、その「理由書」には存在しない議会の「意見」もあったように装うなど悪質な対応をした結果、2つの事業費44億7910万円に補正額が10億3160万円含まれる前代未聞の事業計画を生じせしめたが、担当課の反省はなく、監査委員の「決算監査

報告」にも指摘はない。委員会は財政規律を乱した事件として、警鐘を鳴らし、1対6で不認定とした。本会議採決で認定されたが、「決算審査報告書」の指摘事実は覆されたものではなく、事業費の4分の1の補正と財政規律を乱した事実は否定できない。

(2) 税務について

平成23年度の滞納額は6億9572万2000円で前年より3152万1000円の増加である。改善を求めた結果、「滞納整理班」の内部業務をはずし、専念するとの文書が提出された。

(3) 市営住宅の滞納について

市営住宅使用料の滞納について、保証人の協力も得るようにながしたところ、審査中に大幅に改善された。

(4) 消防について

超限界集落の点在する消防団員の高齢化に鑑み、現在の消防職員179人を125人に削減する計画は見直すべきである。

(5) 監査委員について

「行政監査」を重視し、監査日数を増やし、報酬もそれに見合うものにすべきである。

2 歌代の里、すこやか両津について

2つの施設は、介護保険を主な財源とする介護報酬で経営する事業体であり、経営を統合して独立させるべきである。

3 国民健康保険特別会計について

23年度の国保税の滞納額は3億円を超えているが、高額所得階層の滞納率が高い。1億2000万円の回収で国保税の引上げは回避できる。

4 病院事業会計について

「潰すか、立て直すか」3年間で答えを出せと総務省に迫られた病院事業は23年度、1億2600万円の黒字決算で総務省は「公立病院の評価すべき事例」として全国に紹介した。さらに努力されたい。

議案等（審議結果）一覧

議案等番号	件名	審議結果
継続審査中の議案第122号	平成23年度佐渡市五十里財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
継続審査中の議案第123号	平成23年度佐渡市二宮財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
継続審査中の議案第124号	平成23年度佐渡市新畑野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
継続審査中の議案第125号	平成23年度佐渡市真野財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
継続審査中の議案第126号	平成23年度佐渡市病院事業会計決算の認定について	◎
継続審査中の議案第127号	平成23年度佐渡市水道事業会計決算の認定について	◎
発議案第12号	佐渡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○
請願第7号	オスプレイの在沖米軍普天間基地配備と新潟県上空を含む国内低空飛行訓練の中止を求める請願	×
継続審査中の請願第5号	「教育費無償化」の前進をもとめる請願	△
陳情第4号	佐渡市の現存しているスポーツ施設の充実とランニングマシン増設について	△
陳情第5号	給水を求める陳情	△
継続審査中の陳情第3号	「年齢計算二関スル法律」の改正についての意見書の提出を求める陳情	△

賛否等の公表

前表の賛否の分かれた議案等（網掛け）について、議員別に賛否等を公表します。

議案等番号	議決結果	賛否の別		新生クラブ					市政会		地域政策研究会		新和会			自由・三クラブ			民主党		日本共産党		無会派				議長 祝優雄
		賛成	反対	浜田正敏	金田淳一	駒形信雄	笠井正信	岩崎隆寿	竹内道廣	大澤祐治郎	加賀博昭	根岸勇雄	渡辺慎一	佐藤孝	中川隆一	坂下善英	猪股文彦	金子克己	金光英晴	近藤和義	村川四郎	中川直美	中村良夫	山田伸之	荒井眞理	大森幸平	
133	可決	20	1	○	○	○	○	○	●	欠	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
135	可決	17	5	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
137	可決	20	2	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
157	可決	19	3	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
継113	可決	15	7	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●
継114	可決	18	4	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
継115	可決	19	3	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
継116	可決	18	4	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
発12	可決	15	7	○	○	○	○	○	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○
請7	不採択	5	17	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	

※ ○は賛成、●は反対、退は一時退席した者、欠は欠席者。なお、議長は採決に加わらない。

可決された
発議案

佐渡市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

「24人」を「22人」に改めることになり、
次の議員選挙からは議員定数が22人となります。